

八代市総合戦略 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況（概要）

資料1

■表1 重要業績評価指標（KPI）の達成状況

	KPI数	目標達成 [◎]		目標未達成					
				上昇 [↗]		維持 [→]		下降 [↘]	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
基本目標1	21	11	52.4%	5	23.8%	0	0.0%	5	23.8%
基本目標2	13	8	61.5%	3	23.1%	1	7.7%	1	7.7%
基本目標3	18	6	33.3%	6	33.3%	0	0.0%	6	33.3%
基本目標4	23	8	34.8%	10	43.5%	2	8.7%	3	13.0%
全体	75 ※	33	44.0%	24	32.0%	3	4.0%	15	20.0%

※事業停止の1件については、全体数から控除している。（全76件－1件＝75件）

■表2 人口の推移（1年あたりの減少率）

	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	1年あたりの 減少率
(A)国立社会保障・人口問題研究所（H25）	132,266	126,300	120,100	-1.0017%
(B)八代市人口ビジョン（H27）	132,266	126,700	121,600	-0.8183%
(C)住民基本台帳（9月末）	134,314	130,661	125,547	-0.7953%

(A)と(B)は、国勢調査人口（実際の居住者の状態に即した人口）を基にした推計、(C)は住民基本台帳人口（本市の住民基本台帳に登録されている人口）であるため、数値に差異があることから、直接比較することはできない。

そこで、人口の推移を1年あたりの減少率で比較すると、本市人口ビジョンで目標とする減少率（約△0.81%）より、更に緩やかな減少率（約△0.79%）を達成している。

- ・評価した75件のKPIのうち、33件（44.0%）が目標を達成した。
- ・目標を未達成だった42件のKPIのうち、24件については計画策定時の値より上昇している。
- ・現状維持も含めると、全体の80%のKPIが向上していることが認められる。

○基本目標1（仕事づくり）においては、5割以上のKPIが目標を達成

特に『「人材」の確保・育成・支援』の施策では、6つのKPIのうち、5つが目標を達成している。
【人・農地プランにおける中心経営体数】等

○基本目標2（人の流れづくり）においては、6割以上のKPIが目標を達成

特に『移住・定住の推進』の施策では、全4つのKPIが目標を達成している。
【空き家バンク登録数】等

○目標未達成で、計画策定時より指標が下降した15項目（20%）の主な理由

- ①事業主体や人口の減少によるもの【いぐさ作付面積】等
- ②事業相手先・環境の変化によるもの【木の駅プロジェクト取扱量】等
- ③不測の事態によるもの【日中一時支援事業（日中短期入所）利用者数（人/月）】等

■表3 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より

年度	社会動態					自然動態			全体
	転入	その他 増加	転出	その他 減少	計	出生	死亡	計	
H27	3,646	71	3,696	330	-309	981	1,590	-609	-918
H28	3,893	70	3,463	332	168	949	1,767	-818	-650
H29	3,993	30	3,696	438	-111	946	1,728	-782	-893
H30	4,171	24	3,885	425	-115	878	1,791	-913	-1,028
R1	4,090	27	4,009	433	-325	811	1,820	-1,009	-1,334

- ・転入等の増加要因から転出等の減少要因を差し引いた社会動態は、減少幅が拡大傾向にある。（H30：△115 → R1：△325）
- ・社会動態の”その他減少”のうち大部分を占める「職権消除」は、外国人が95%を占めているという特徴がある。
- ・出生と死亡の差である自然動態は、令和元年度は1,000人を超える減少となった。（R1 出生：811、死亡：1,820）
- ・出生数は5年前と比較して170人（17.3%）減少し、死亡数は5年前と比較して230人（14.4%）増加している。
- ・社会動態による減少（△325）より、自然動態による減少（△1,009）の方が大きい。